

全校朝礼での各学年代表の言葉と写真

一年生 集団訓練

代表 前川孝太郎

一年生は学年行事を通してクラスの団結力がアップしました。

一日目の白旗山登山では、しんどい中でも声をかけあいながら頂上へたどり着くことができました。山頂で行った大声コンテストでは各クラスが一丸となって、それぞれ大きな声を出すことができました。



二日目の飯盒炊きさんでは、おいしいカレーを作るために自分の役割を果たしました。意見が食い違うこともありましたが、互いを理解し合い、学年がまとまりました。

三日目は関西福祉科大学で貴重な福祉体験をさせて頂きました。この体験で分かったことは、相手の立場を思うと行動するということです。介護される側と側の両方を知ることができました。ここで大切にしたと思うことは、相手のことを「かわいそう」と思うのではなく、「手伝いしよう」と試みることです。自分でできることを考えて行動していきます。



僕たちに残った課題、それは「メリハリをつける」ということです。指示が一度で通らないことが何回もありました。そこで、「静かにしましよ」の声をなくしてメリハリをつけるコンテストを実行していきます。今回の行事が意味のあるものになるよう、また成長するきっかけになるように今後の生活を送っていきます。

二年生 トライやる・ウィーク

私たち二年生は、保育園や小学校、飲食店や商店、介護施設など、町内三十一の事業所に分かれて職業体験をしました。

大林 弓鶴

私は、普段あまり触れることのない着物や浴衣に興味がありました。原田呉服店で職業体験をしました。学んだことは、分からないことを分らないでいいままにせず、疑問に感じたその時に質問すべきだということです。分らないまま作業を続けると、間違いにつながり、その分余計な時間を費やすことになります。その時その時に分からないことを質問しておけば、成功につながると感じました。もう一つは、どんなことでも楽しんでやろうとすることです。楽しみながら作業することでいいアイデアが浮かんだり、思いを込めて仕事をすることでお客様や利用者の方に喜んでもらえるようないいものが作れたりするからです。学校生活でも楽しくやっていくことで、みんなが気持ちよく過ごせる環境が作り出せ、よい学級づくりになると考えます。

山本純嘉
私は将来、保育士になりたいと思っていますので、プレスクールに行きました。担当したのは1歳児クラスで、一緒に遊んだり、おむつを交換したり、寝かしつけたりしました。園児たちが動き回ると、全体を見て園児全員の安全を確認するのはとても難しいと感じました。保育士になるためには、相手のことを思い、何が言いたいのか、何がしたいのかを感じ取る力や、こちらが言いたいことを伝える力が必要だと思いました。これからは、周りをよく見て、今は何をすべきなのかを考えて行動していきたいと思えます。また、自分の意見や思いを相手に正確に伝えられるように、周りの人も正確に理解できるようにコミュニケーションスキルを磨きたいです。



三年生 修学旅行

代表 砂田 将貴

僕達三年生は、修学旅行で東京に行きました。一ヶ月前から実行委員全員で成功させるための計画・スローガンを考えました。スローガンは「充実した旅をShare Happy and Enjoy」。一人の我慢がみんなの楽しみをつくる、という意味です。そのために「時間を守る」「安全第一」「一致団結・気配り・協力」という三つの目標を胸に、三日間過ごしました。

一日目はまず国会議事堂へ行きました。ここが日本の政治を動かしているんだと思いました。スカイツリーでは想像以上の高さに驚きましたが、景色は絶景でした。



二日目は班別研修でした。上郡ではできない貴重な体験をしました。上手にくくればかりではありませんが、その困難を班全員で乗り越え、臨機応変

に行動できました。三日目はクラス別研修でした。各クラスごとに研修場所に行き、東京の先端技術を体感しました。それぞれたくさん発見があり、学んだこともたくさんありました。スローガン通り、一人一人が少しの我慢をし、全員で幸せや楽しみを分かち合うことができました。全員が笑顔で帰ってくるのが嬉しかったです。僕達実行委員の指示や話をしっかり聞き、行動した三年生のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

